

洪水ハザードマップ

災害時の避難所を確認できる洪水ハザードマップです。

「洪水ハザードマップ」とは？

万が一の水害時に、避難をするために必要な情報が掲載されている地図で、市町村が作成・発行するものです。

- 目的...万が一の水害時に、地域の住民の方々が安全に避難できる事。
- 掲載内容...避難をするために必要となる情報として、「想定浸水深」、「避難所の位置および一覧」、「緊急連絡先」、「避難時の心得」など。
- 作成...浸水実績がある区域や、水防法第10条4項によって指定を受けた浸水想定区域の通知を受けた、市町村長が作成。

「洪水ハザードマップ」の種類

- 避難活用型...住民の方々が、洪水時に安全に避難できる事を目的とした「洪水ハザードマップ」。
- 災害学習型...平常時にも住民が洪水について学習にできるようにした「洪水ハザードマップ」。
- 防災情報型...地域の防災担当者が利用する事を目的とした「洪水ハザードマップ」。

「洪水ハザードマップ」の効果

- 前もって洪水による被害を知ることが出来る。
- 普段から洪水による危機意識を持つことが出来る。
- 何をすべきか、何が必要かが冷静に判断でき、素早く避難することが出来る。